

平成 25 年度社会貢献活動について

平成 26 年 4 月 15 日
公益社団法人リース事業協会

1. 平成 25 年度下期の実績

- 当協会は、リース業界の特色を活かした社会貢献活動（※1）として、会員会社から提供を受けたリース終了パソコンを東日本大震災の被災 3 県（岩手県、宮城県、福島県）の公的教育機関に寄贈しています（平成 23 年度から実施）。
- 平成 25 年度下期からは、リース終了パソコン（Windows7 モデル）の寄贈活動を開始し、31 教育機関に対して、リース終了パソコン（Windows 7 モデル）を 65 台寄贈しました（※2）。
- 寄贈先は公益社団法人全国学校図書館協議会からご紹介いただいた学校図書館と宮城県・福島県の特別支援学校等となっています。また、平成 25 年度下期からは、被災 3 県以外の特別支援学校への寄贈も開始し、茨城県内の特別支援学校へ 37 台寄贈しました。

〈寄贈実績・平成 25 年度下期〉

寄贈先所在地	学校図書館	特別支援学校等	合計	平成 23 年度からの累計実績
岩手県	1 台	0 台	1 台	99 台
宮城県	6 台	10 台	16 台	365 台
福島県	6 台	5 台	11 台	533 台
茨城県	—	37 台	37 台	37 台
合計	13 台	52 台	65 台	1,034 台

〈寄贈先の状況〉（茨城県・特別支援学校）

- ◆パソコン寄贈のお知らせありがとうございます。本校では、児童生徒数急増で、パソコンが間に合わない状況が続いておりました。今回の寄贈の話をいただき大変感謝しております。生徒のために、大切に有効に使わせていただきます。
- ◆県の財政状況が厳しい折、年々学校予算が減少し、なかなかパソコンの整備までは手が回らない状況です。現在 XP パソコンがまだ残っており、対応に苦慮していたところです。
- ◆本校でも校舎の一部（スロープ、プール、教室の天井、水道管等）及び体育館が被災したが、現在は復旧している。26 年度耐震工事を行い、災害への備えを進めているところです。「リース終了パソコンの寄贈」願ってもない話です。ありがとうございます。

2. 今後の活動（平成 26 年度計画）

- 東日本大震災復興支援活動
東日本大震災の被災地域に所在する学校図書館を公益社団法人全国学校図書館協議会からご紹介いただき、リース終了パソコンの寄贈を行います。
- 特別支援学校に対する支援活動
特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈活動を行うとともに、障がいをもった児童・生徒への就労移行支援を行います。
- リース業界の社会貢献活動事例の調査
会員会社の社会貢献活動事例を協会ホームページ・月刊リースなどで紹介します。

（※1）当協会の社会貢献活動は、国内外の社会的課題に対して、リース及びリース事業を基盤とした社会貢献活動を行い、その活動を社会に等しく公表することにより、リース及びリース事業の適正な理解の促進を図ることを目的として実施しています。

（※2）この寄贈活動に際しては日本マイクロソフト株式会社のシチズンシップライセンスを活用させていただいています。

以上